

1 基本情報

施策名	1 - 3 子育てしなくなるまちづくり				戦略名	若い世代定住プロジェクト				
担当	主担当部	健康福祉部	主担当課	保育課						
	部長名	五十嵐 洋	関係課	子育て支援課	健康課	学校教育課	生涯学習課			

2 取組目標(Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの状況に応じて様々な子育て支援サービスを提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指します。 ●子育て世帯を地域全体で支え、のびのびと楽しく子どもを育てられる環境づくりを進めます。 ●子ども一人一人とさらに向き合い、「子どもの教育なら白井」といわれるまちづくりを進めます。
目標実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ●利便性の高い場所での保育機会の確保 駅周辺など、利便性の高い場所で、小規模保育など多様な保育サービスを充実します。 ●子育てに係る経済的負担の軽減 子ども医療費助成を充実するなど、若い世代の経済的負担を軽減します。 ●地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり 子育てサロンなど地域での親子の居場所をつくり、地域全体で子育てを支えるしくみづくりを進めます。 ●児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進 地域の人材を活かした授業や補助教員の配置など児童・生徒一人一人と向き合うきめの細かい学校教育を一層充実します。

3 取組状況(Do①)

H28年度 具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ●利便性の高い場所での保育機会の確保 小規模保育事業所（1箇所）の整備に補助金を交付するとともに、病児・病後児童に係る保育スペースを病院内に確保するなど、保育サービスの充実を図った。（H28：病児保育事業所の開設（白井聖仁会病院内）） ●子育てに係る経済的負担の軽減 市内に住所のある中学校3年生までの子どもの通院、調剤、入院に係る医療費に対して助成を行い、子育てに係る経済的負担の軽減を図った。 ●地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり 放課後子ども教室（2箇所）や地域住民の協力による子ども教室を実施し、放課後等における子どもたちの居場所づくりを図った。また、妊婦・子育て世代を対象とした講座の開催等を通じて子育て世代の支援を図った。 ●児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進 児童・生徒に対する個別指導や少人数指導を実施するため、各小中学校に学校補助教員を配置した。 各小中学校の事業計画に基づき、地域に応じた特色ある学校づくりに努めた。 市内の全小学校3年生を対象に「ドリームチャレンジャー事業」を実施し、地域の大人や団体から様々な体験機会を確保することで地域全体で子育てする環境整備を図ったが、小学生の参加（利用）が少なかった。 「子どもしごとフェス事業」については、指定管理者が実施している類似事業の調査・研究を行い、廃止も含め見直しを行うこととした。 	
改善意見 取組状況	前年度改善意見	改善意見への取組状況

4 構成事業(Do②)

No	コード	事業名	H28事業費	うち一般財源	評価	改善事項
1	1-3-1-01	待機児童対策事業	16,519	1,836	改善して継続	既存施設の受入枠拡大の支援
2	1-3-1-02	病児・病後時保育事業	1,783	591	現状のまま継続	
3	1-3-2-01	子ども医療費助成事業	219,730	138,411	改善して継続	窓口業務の外部委託、子育てワンストップサービスの導入
4	1-3-3-01	子育てスタート応援事業	1,460	1,460	改善して継続	子育て世代包括支援センターの設置
5	1-3-3-02	子育てカフェ事業	0	0	改善して継続	民間活力の活用、類似事業との整理・統合
6	1-3-3-03	放課後子ども教室事業	2,264	1,030	改善して継続	学童保育との連携
7	1-3-4-01	補助教員配置事業	46,035	45,795	現状のまま継続	
8	1-3-4-02	地域人材活用事業	2,852	2,452	現状のまま継続	
9	1-3-4-03	ドリームチャレンジャー事業	1,037	1,037	休廃止	制度設計の抜本的見直しが必要のため休止
10	1-3-4-04	子どもしごとフェス事業	0	0	休廃止	指定管理者による類似事業を踏まえて廃止
合計			291,680	192,612		

